

## 司法試験委員会会議（第126回）議事要旨

（司法試験委員会庶務担当）

### 1 日時

平成28年9月5日（月）14:35～15:35

### 2 場所

法務省司法試験考査委員室

### 3 出席者

#### ○ 司法試験委員会

（委員長）山口 厚

（委員）秋葉康弘，稲川龍也，春名一典，大沢陽一郎，羽間京子，長谷部由起子（敬称略）

#### ○ 司法試験委員会庶務担当（法務省大臣官房人事課）

伊藤栄二人事課長，丸山嘉代官房付，是木 誠試験管理官，森山智文人事課付

### 4 議題

- (1) 司法試験委員会委員長代理の互選について（協議）
- (2) 平成28年司法試験合格者の決定について（協議）
- (3) 平成28年司法試験の成績通知について（協議）
- (4) 平成28年司法試験考査委員及び司法試験予備試験考査委員の推薦について（報告）
- (5) 司法試験出題内容漏えい問題に関する原因究明・再発防止検討ワーキングチームにおける検討について（報告・協議）
- (6) 次回開催日程等について（説明）

### 5 議事等

- (1) 司法試験委員会委員長代理の互選について（協議）

○ 委員の互選により，秋葉康弘委員が委員長代理に選任された。

- (2) 平成28年司法試験合格者の決定について（協議）

○ 平成28年司法試験について，司法試験考査委員会議の判定に基づき，論文式試験の各科目において，素点の25%点（公法系科目・刑事系科目は50点，民事系科目は75点，選択科目は25点）以上の成績を得た者のうち，短答式試験の得点と論文式試験の得点による総合評価の総合点880点以上の1,583人を合格者とすることが決定された。

- (3) 平成28年司法試験の成績通知について（協議）

○ 事務局から，平成28年司法試験の成績通知について，順位ランクの欄に各問別のランクを記載することについて報告がなされ，そのとおり記載し，通知することとされた。

- (4) 平成28年司法試験考査委員及び司法試験予備試験考査委員の推薦について（報告）

○ 委員長から，平成28年司法試験考査委員及び司法試験予備試験考査委員として別紙記載の者を法務大臣に推薦することについて，司法試験委員会議事細則第6条第1項に基づき，書面

等により各委員から意見を徴した結果、了承され、平成28年8月31日付けで委員会の議決としたことが報告された。

これに関し、事務局から、別紙記載のとおり、司法試験考査委員等に推薦された者が平成28年9月6日付けで法務大臣から考査委員に任命される予定であることが報告された。

(5) 司法試験出題内容漏えい問題に関する原因究明・再発防止検討ワーキングチームにおける検討について（報告・協議）

（◎委員長，□委員，■事務局）

■ 司法試験出題内容漏えい問題に関する原因究明・再発防止検討ワーキングチームにおける検討状況について、前回に引き続き報告する。

前回の司法試験委員会において、法科大学院教員の授業の録音について御指摘があった。現在のワーキングチームにおける録音に関する議論の状況は、教育への影響等を考慮しつつも、法科大学院教員が問題作成に再び関わることについて国民から厳しい視線で見られているという現状に鑑みれば、当面の方針として録音が必要ではないかとの意見が大勢を占めている。

◎ 考査委員の再任回数の制限について、採点段階から関わる考査委員も対象とするか否かにつき、ワーキングチームとしてはどのように考えているのか。

■ ワーキングチームにおける現在の議論では、問題作成に関わる考査委員に関して就任期間を限定していくべきとの方向で議論が進められている。漏えいが問題作成に関わる考査委員の特有のものであることなどから、問題作成に関わる考査委員に限定してはどうかという意見が強い。

◎ 来年の考査委員体制を構築するスケジュールを考えれば、早期に方針を示す必要がある。

□ 選択科目によっては、研究者が限られているという事情があると思われるので、早い段階から人選をしていかなければ間に合わないのではないか。

■ 3年次後期の授業を担当している法科大学院教員を考査委員として選定できないという制約があり、特に選択科目の場合は、3年次後期を担当する教員が多いことから、今後、新組織を設立して、法科大学院教員を考査委員として選任することとなった場合には、早期に考査委員候補者を選定して打診する工夫などが必要になると思われる。

◎ 大学のカリキュラム編成の時期にも留意していく必要がある。

(6) 次回開催日程等について（説明）

○ 次回の司法試験委員会は、平成28年10月5日（水）に開催することが確認された。

（以上）

平成28年司法試験考査委員及び司法試験予備試験考査委員推薦者

是 木 誠 憲 法 法務省刑事局参事官